

別紙1

会 議 記 録

会議名称	第2回北本市廃棄物減量等推進審議会
開会及び閉会日時	令和7年10月9日（木） 午前10時00分から午前11時00分
開催場所	北本市文化センター第5会議室
議長氏名	会長 谷津 英治
出席委員(者)氏名	原 保夫、横田 清、谷津 英治、中田 隆、佐藤 憲二
欠席委員(者)氏名	田中 康之、鈴木 曜一、藤倉 聡
説明者の職氏名	株式会社環境技術研究所 阪根 嘉穂
事務局職員職氏名	環境課長 佐藤 健市 環境課 資源循環担当 主幹 深谷 俊行 環境課 環境政策・保全担当 主幹 日向 喜郎 環境課 環境政策・保全担当 主査 長崎 恵子 環境課 資源循環担当 主任 桐生 共喜 株式会社環境技術研究所 山崎 厚 株式会社環境技術研究所 阪根 嘉穂
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 北本市一般廃棄物処理基本計画（第5次計画）（素案）について 4 その他 5 閉会
配布資料	次第 資料1 北本市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 資料2 北本市一般廃棄物処理基本計画（第5次計画）（素案） 参考資料 北本市廃棄物減量等推進審議会条例

発 言 者	発言内容・決定事項
司会(佐藤課長)	1 開会 (開会あいさつ、資料の確認、欠席者のご報告) 2 会長あいさつ (会長あいさつ) それでは、議事に入りますが、北本市廃棄物減量等推進審議会条例 6 条第 1 項により「会長が会議の議長となる」となっていますので、谷津会長に議事進行をお願いいたします。 なお、北本市廃棄物減量等推進審議会の委員は 8 名となっております。本日の参加委員の人数は 5 名で、過半数に達しておりますので、北本市廃棄物減量等推進審議会条例 6 条第 2 項により、会議が成立することを報告します。
議長	3 議事 それでは議事審議を行います。 この会議の公開について、事務局より説明をお願いします。
事務局	市の附属機関につきましては、北本市附属機関等の会議の公開に関する規則により、会議の公開を会議に諮って決定することとなっています。なお、この会議での審議については、非公開事項を審議するものではないので、原則公開になると考えております。
議長	各委員の皆さま、公開でよろしいでしょうか。 【「異議なし。」の声あり】 特に異議がないため、公開といたします。
事務局	(傍聴者は申込み 0 人、当日 0 人であることを確認、報告)
議長	議題「北本市一般廃棄物処理基本計画（第 5 次計画）（素案）」につきまして、第 4 章「食品ロス削減推進計画」までの内容を事務局より説明をお願いします。
事務局	【配布資料 2 第 4 章までを説明】
議長	ただいま事務局より説明がございましたが、この件について意見を求めます。
中田委員	全体を通して非常によく整理されていて理解できますが、一般市民からみてごみをどのように分別したらよいかわからないといった意見を耳にします。もう少しわかりやすい例示があれば市民の理解を得やすいと思います、いかがでしょうか。
事務局	ごみカレンダー、分別マニュアルをより広く周知できるようにしていきたいと思います。他にも雑紙の分別マニュアルを作成しており、市のホームページに掲載しておりますので、そちらも周知して市民の方にな

	るべくわかりやすく説明できるようにしてまいります。 また、最近は北本市でも外国籍の方が増えてきているため、令和7年度中に8言語のごみ分別表の作成を予定していますので、そちらの周知にも力を入れていきたいと思っています。
議長	北本市に在住の外国籍の方は何名ほどいますか。これまでは4か国語でしたが、現在北本市に住んでいる外国人の言語を網羅しているのでしょうか。
事務局	現在の市内在住の外国籍の方は約1,000人で、その上位の国の使う言語を抽出しまして、それらのごみ分別表を作るように準備をしております。
議長	ごみの集積所に看板がありますが、出し方について今の実情と違うケースもあるため、表記の見直しが必要かと思っています。
横田委員	食品ロスの目標に対し未達成ですが、原因について市はどのようにとらえていますか。
事務局	食品ロスのみの原因の把握は困難ですが、推計重量は埼玉中部環境センターのごみの組成から算定しています。食品ロスについてはなるべく減らすよう周知を徹底していきたいと思っております。
横田委員	小中学生向けのポスター掲示などの活動だけでは、目標に対して不足していたのだと思います。目標に対しての実績がかなり乖離しているように感じられます。目標掲示は必要だが、目標を設定するのであれば、環境課と北本市ごみ減量等市民会議を中心に連携し、具体的にどのような行動を起こし、毎年どの程度割合を減らしていくかの目標を立てて、実績を作っていく必要があると思います。 今まで通りの施策であれば、次年度以降も未達成になると思います。
事務局	小中学生を対象とした環境ポスター・標語コンクールの他に、フードドライブ等も行っていますが、このままでは目標を達成できないという点については確かにその通りだと思います。これらの状況も踏まえ、新たな施策を市としても考えていきたいと考えております。
横田委員	子どもは素直なので理解すると思います。実際には、大人の意識が不足していると感じます。一時期、宴会で「食品ロスを減らしましょう」と呼びかけをしていたと思いますが、現在はあまり周知されていません。大人に対しての啓発をどのように行っていくかが課題になると思います。 食品ロスのイベントを実施する、祭り等行事におけるごみ問題などについて、環境課が中心となって推進していかなければ難しいのではないのでしょうか。 一人1日あたりのごみは、極端に減ることは考えにくいです。今後、どのように減量するか市が主体となって考えていくことが重要だと思います。
事務局	目標を達成できる施策を行うよう検討を進めます。

横田委員	他の自治体でまだ実施されていない施策を実行していかなければ、目標達成は難しいと思います。
議長	コロナ禍による生活様式の変化に伴い、家庭での食事が増え、食品ロスが増えていると思います。北本市でもスーパーでは閉店間際の値引きなど食品ロスに向けた対応を行っています。豊作時の野菜等は、フードドライブや子ども食堂の支援に回す活動を推進していますが、各団体がバラバラにやっている傾向があるため、連携して取り組むと良いと思います。イベントの開催が最も取り組みやすいのではないのでしょうか。 段ボールコンポストの周知は、以前市役所前で実施していました。引き続きの対応をお願いできればと思います。このような地道な取組が必要だと思います。 北本市ごみ減量等推進市民会議では来週にパネル展示会を行います。この際に小中学生の入賞作品を展示しています。
事務局	計画の60、61ページに関する意見として直接影響のある部分だと思います。横田委員からも谷津会長からも環境ポスター・標語コンクールの話がございました。今回も食品ロスをテーマの一つとしており、小中学生の意識を高めることができたと思います。大人になった際にも行動に移せるような取組を引き続き継続していきたいと思います。
議長	他に意見もないようですので、次に移ります。第5章「生活排水処理基本計画」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【配布資料2第5章を説明】
議長	ただいま事務局より説明がございましたが、この件について意見を求めます。
中田委員	生活排水となると、お風呂、トイレなどが主になると思いますが、北本市として排水の割合はどのようになっているか把握されていますか。 最近、自宅のトイレを変えたのですが、かなり節水となっています。個人としては水道代も抑えられるのでありがたいのですが、施設での処理等を考えると、どの程度の割合が適正なのか疑問に思いました。
事務局	トイレ、お風呂等がどれくらいの割合というのは、手元の資料では把握できていません。下水道を通ったものの量としては、67ページに掲載しているとおりです。生活排水の内訳等の細かい資料までは持ち合わせていない状況です。浄化槽についても同様です。
佐藤委員	し尿処理施設の運転管理を行っている者として回答すると、下水処理場に送られる排水の濃度については、一般家庭では水分が減ると配管の中で詰まる可能性は出てきますが、下水道の配管で処理場まで送られるような流動性のあるものであれば処理を受けられています。他のところからの排水も入ってきますので、一般家庭から送られてくるものとしては問題ないかと思います。 合併処理浄化槽としては、浄化槽のなかで処理を行っているの、流れる水が少なくなれば濃くなる可能性もありますが、生活排水も一緒に

議長	流れるのであれば問題はないと思います。 近年は、核家族化により、昔と比べると浄化槽処理水濃度は薄くなっている傾向があります。年２回、汲み取りしている汚泥を処理していますが、実感として薄くなっています。しかし、濃くなっても組合で問題はなっていないので、節水を行っていただくとコスト等の負担も減るのでよいと思います。 その他のご意見はございますか。 他に意見はないようですので、本日の議事は終了し、司会を事務局にお返しします。
事務局	４ その他 次回の日程につきましては、11月中旬を予定しています。詳細につきましては、改めてご連絡いたします。 その他、何かございますか。 ５ 閉会 閉会のあいさつとして、佐藤副会長にお願いいたします。 (副会長あいさつ) 以上をもちまして、第２回北本市廃棄物減量等推進委員会を閉会いたします。 ありがとうございました。